

企業広報大賞

< 選考基準 >

社会から期待され求められているものを見極め、それを経営に反映させるとともに、ステークホルダー（生活者、従業員、メディアなど）に対し、広報を通じて企業活動の情報を的確に発信・伝達し、社会に貢献している企業

受賞企業：株式会社りそなホールディングス

【選考理由】

歴史を踏まえ設定した「金融+で、未来をプラスに。」というパーパスの下、全てのステークホルダーとの対話・コミュニケーションを大切にした広報活動を推進している。取材要請に対しても常にオープンで誠実な姿勢を堅持。記者懇談会や勉強会による丁寧な情報発信、経営陣と報道機関との関係構築にも積極的に取り組んでいる。新紙幣発行時など様々な場面において、全国主要拠点間の緊密な連携も進めつつ、きめ細かい取材対応を行い、各社報道につなげた企画力、統率力も印象深く、評価された。

企業広報経営者賞

< 選考基準 >

広報の重要性を深く認識し、社内外の情報に常に傾聴し、社業の発展のみならず社会課題の解決に向け、経営理念や経営ビジョンなどをステークホルダー（生活者、従業員、メディアなど）に積極的に伝達するとともに、社会との対話を精力的に推進している経営者

受賞者：ほそみ けんすけ 細見 研介 株式会社ファミリーマート 代表取締役社長

【選考理由】

経営方針や社会課題への取り組みを幅広いステークホルダーに向けて自身の言葉で積極的に発信している。広報活動における圧倒的なリーダーシップとインパクトのある広報効果で広く存在感を示した。業界の常識を覆す品質とデザインで大きな反響を得た「コンビニエンスウェア事業」や、トップ自らが企業の姿勢を明瞭に伝えた主力商品発表会などで発揮された主体性、独創性、行動力は特筆に値する。

企業広報功労・奨励賞

＜選考基準＞

「企業広報功労賞」は、企業広報の発展に著しく貢献した実務者（個人・チーム）、「企業広報奨励賞」は、独創的な企業広報を実践している実務者（個人・チーム）

受賞チーム：株式会社西日本シティ銀行 広報文化部

【選考理由】

旧西日本銀行と旧福岡シティ銀行が合併し、創立 20 周年（2024 年）。「地域の発展なくして、当行の発展なし」との変わらない信念の下、広報部を「広報文化部」と改称し、多様な地域貢献活動を展開。「フードドライブ活動」による子ども食堂支援や未来を担う子どもたちへの継続的な金融リテラシー教育を実施している。独自の公式キャラクターを活用した地域密着型活動も注目され、社会に対する真摯な貢献が高評価につながった。

受賞者：平山 勝基^{ひらやま かつき} 西松建設株式会社 広報部長

【選考理由】

社会における存在意義を常に問い直し、信頼回復への取り組みの最前線で広報活動を力強くけん引。創業 150 周年（2024 年）をブランド戦略の要と位置付け、少数精鋭の体制で情報発信を多角的かつ戦略的に展開し、企業イメージを飛躍的に向上させた。明確な目的意識を持ってまい進し、対外的なイメージの改善だけでなく、インターネットコミュニケーションの活性化にも大きく寄与している点が高く評価された。

選考委員

（敬称略・氏名五十音順）

日本経済新聞社	政策報道ユニット 経済部長	加藤 修平
共同通信社	経済部長	加藤 裕
日経 B P 社	『日経ビジネス』編集長	熊野 信一郎
読売新聞東京本社	経済部長	中澤 謙介
朝日新聞東京本社	経済部長	福岡 大介
プレジデント社	『プレジデント』編集長	星野 貴彦
毎日新聞社	経済部長	三沢 耕平
日本放送協会	報道局経済部長	芳野 創

以 上